1. 科目名						
1. 科目名(単位数)		日本語教育の理論と方法 (2単位)		3. 科目番号	EIIE2151	
2.授業担	当教員	大橋 真由美		0. 17日年7	E11E2101	
4. 授業形	態	講義・演習・討論・発表		5. 開講学期	春期	
6. 履修条 他科目	件・ との関係				•	
7. 講義概要		日本語教育の基礎的な理論とその展開の方法について学習する。日常使用する日本語を客観的に捉える力を養うことによって、自身の日本語力の向上をはかる。また「言語としての日本語」を知り、「外国人に日本語を教えること」とは何であるのかを知る。具体的には、日本語教育の歴史と現状、日本語の特徴とその社会文化背景要因、日本語の音韻体系や文法、日本語を学ぶ学習者事情といった側面から説く。				
8. 学習目標		1.日本語教育学の基礎知識について説明できるようになる。 2.日本語教育学の基礎知識を、自分で用例を挙げながら解釈したり、母語の知識と比較したりできるようになる。				
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題		1. 教科書の指定ページを読み、授業前に印象に残ったこと、疑問点などを整理しておくこと(事前課題)。 授業後は授業の感想・コメント、質問を記入し提出すること(事後課題)。 2. 興味のある地域を一つ選び、その地域における日本語教育について調べて発表する(第6回授業)。発表後、内容をレポートにまとめて提出する。 3. 自身の音読を録音し、発音の問題や特徴を見直す(第7回)。フィードバックを踏まえて改善した音読を提出する。その際、改善した点について記載すること(書式なし)。				
10. 教科書・参考 書・教材		【教科書】 高見沢孟 監修『新・はじめての日本語教育 1 日本語教育の基礎知識』アスク出版、2016 年 【参考書】 ①荻野綱男編著『現代日本語学入門 改訂版』明治書院、2018 年 ②高見沢孟他著『新・はじめての日本語教育 2 日本語教授法入門』アスク出版、2016 年 ※②は「日本語教授法 I」「日本語教授法 II」でも使用する。				
11. 成績評価の規準 と評定の方法		<ul> <li>○成績評価の規準</li> <li>1)日本語教育学の基礎知識について説明できるようになったか。</li> <li>2)日本語教育学の基礎知識を日本語(と母国語)に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになったか。</li> <li>○評定の方法 以下の点を総合して評価する</li> <li>1 授業への参加態度 総合点の30%</li> <li>2 提出課題(レポート等)・発表 総合点の40%</li> <li>3 試験 総合点の30%</li> <li>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</li> </ul>				
12. 受講生への メッセージ		日本語を日常的に話しているからと言って、日本語を論理的に説明することは難しいだろう。ましてや、日本語非母語話者に日本語を教えることは簡単ではない。この授業では、日本語を客観的に捉え、外国語としての日本語の教授法を学んでいく。授業を通して、日本語に興味を持って、授業に取り組んでほしい。 初回の業業で通知する				
10 オフィ	フアロー		<b>通して、日本語に</b>	興味を持って、授業に取		
13. オフィ		初回の講義で通知する。	<b>通して、日本語に</b>	興味を持って、授業に取		
14. 授業展		初回の講義で通知する。 内容	通して、日本語に			
		初回の講義で通知する。	<b>重して、日本語に</b>	学習課題	り組んでほしい。	
14. 授業展	開及び授業	初回の講義で通知する。 内容	事前学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について	り組んでほしい。 空学習者数、海外で日本 調べてくる。	
14. 授業展 講義日程 第1回	開及び授業 オリエン	初回の講義で通知する。 内容 授業内容 テーション、日本語教育の今		学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ	り組んでほしい。 学習者数、海外で日本 調べてくる。 コメントを書く。 うな人たちが日本語を	
14. 授業展講義日程	開及び授業 オリエン	初回の講義で通知する。 内容 授業内容	事前学習事後学習事前学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ 学んでいるのか、考え	り組んでほしい。 学習者数、海外で日本 調べてくる。 コメントを書く。 うな人たちが日本語を てくる。	
14. 授業展 講義日程 第1回	開及び授業 オリエン 日本語教	初回の講義で通知する。  内容  授業内容  デーション、日本語教育の今  育の歴史と現状	事前学習事後学習事後学習事後学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ 学んでいるのか、考え 授業の疑問点、感想・	ではい。  で学習者数、海外で日本で調べてくる。  コメントを書く。 うな人たちが日本語をしてくる。 コメントを書く。	
14. 授業展 講義日程 第1回	開及び授業 オリエン 日本語教 第1章 1. 日本語 2. 語順か 3. 日本語	初回の講義で通知する。 内容 授業内容 テーション、日本語教育の今	事前学習事後学習事前学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ 学んでいるのか、考え	で学習者数、海外で日本 調べてくる。 コメントを書く。 うな人たちが日本語を てくる。 コメントを書く。 コメントを書く。 にておく。	
14. 授業展 講義日程 第1回 第2回	開及び授業 オリエン 日本語教 第1章 1. 日語 2. 語目本語 3. 日本語 4. 日本語	初回の講義で通知する。	事前学習 事後学習 事前学習 事後学習 事前学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ 学んでいるのか、考え 授業の疑問点、感想・ 教科書 pp. 8-22 を熟読	で学習者数、海外で日本 で調べてくる。 コメントを書く。 うな人たちが日本語を てくる。 コメントを書く。 コメントを書く。 セレておく。 コメントを書く。	
14. 授業展 講義日程 第1回 第2回	開及び授業 オリエン教 日本 第1日語日本 章 日語日本 章 年順介本部 第1. 日本本部 第1. 日本本部 1. 日本本部 1. 日本本部 1. 日本本部 1. 日本本部 1. 日本本部 1. 日本	初回の講義で通知する。  芸内容 授業内容 授業内容  デーション、日本語教育の今  育の歴史と現状  言語としての日本語 はどこから来たか ら見た日本語 はどんな類型に属するか にはどんな類型に属するか にはどんな特徴があるか 日本語の音声①  の 「音」 の 音前 の リズム の 母音	事前学習 事後学習 事前学習 事後学習 事前学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ 学んでいるのか、考え 授業の疑問点、感想・ 教科書 pp. 8-22 を熟訪 授業の疑問点、感想・	で学習者数、海外で日本 調べてくる。 コメントを書く。 うな人たちが日本語を てくる。 コメントを書く。 こメントを書く。 こメントを書く。	
14. 授業展 講義日程 第1回 第2回	開及 プリ エン教 第1. 日 第1. 日 第	初回の講義で通知する。	事前学習 事後学習 事前学習 事前学習 事後学習 事前学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ 学んでいるのか、考え 授業の疑問点、感想・ 教科書 pp. 8-22 を熟読 授業の疑問点、感想・ 教科書 pp. 24-36 を熟 授業の疑問点、感想・	で学習者数、海外で日本 ででくる。 コメントを書く。 うな人たちが日本語を てくる。 コメントを書く。 をしておく。 コメントを書く。 をしておく。 コメントを書く。	
14. 授業展 講義日程 第1回 第2回	開及 ガリカー 第1. 2. 3. 4. 第1. 2. 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	初回の講義で通知する。 芸内容 授業内容 授業内容 デーション、日本語教育の今 育の歴史と現状 言語としての日本語 はどこから来たかいら見た日本語 はどんな類型に属するからにはどんな類型に属するからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどんな特徴があるからではどうない。	事前学習 事後学習 事前学習 事前学習 事前学習 事前学習	学習課題 日本語学習者の地域や 語の扱われ方について 授業の疑問点、感想・ 国内では現在どのよ 学んでいるのか、考え 授業の疑問点、感想・ 教科書 pp. 8-22 を熟読 授業の疑問点、感想・	で学習者数、海外で日本 調べてくる。 コメントを書く。 うな人たちが日本語を てくる。 コメントを書く。 をしておく。 コメントを書く。 だしておく。 コメントを書く。 読しておく。	

	12. 日本語教師の音声訓練	事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	プレゼンテーション:○○における日本語教育 第3章 日本語の文法①	事前学習	教科書 pp. 60-63 を熟読しておく。
第7回	1. 日本語文法と国文法		授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	2. 文型教育:表現文型のリストと提出順序	事後学習	
第8回	第3章 日本語の文法②	事前学習	教科書 pp. 64-82 を熟読しておく。
	3. 品詞分類		授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	4. 動詞の活用		
	5. 日本語の文法的特徴	事後学習	
	6. 名詞文「~は~です」 7. 主語と主題		
	第3章 日本語の文法③	事前学習	教科書 pp. 83-100 を熟読しておく。
第9回	8.「こそあど」詞:指示詞	尹刑子自	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	9. 形容詞		「大木の茶間が、心心 ニアン「と目へ。
	11. 動詞と表現意図	1.44.34	
	12.「いる」と「ある」: 存在文と所在文	事後学習	
	13. 自動詞と他動詞		
	14. 「~ている」		
第10回	第3章 日本語の文法④	事前学習	教科書 pp. 107-124 を熟読しておく。
	18. 授受表現	事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	20. 「は」と「が」の用法		
第11回	第4章 日本語の文字・表記①	事前学習	教科書 pp. 164-174 を熟読しておく。
	[参考] -日本語の文字の歴史-	事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	第4章 日本語の文字・表記②	事前学習	教科書 pp. 132-162 を熟読しておく。
	1. 常用漢字表について 2. 漢字の筆順		授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	2. 漢子の事順		
第12回	4. 現代仮名遣い	事後学習	
	5. 外来語の表記	, , , , ,	
	6. ローマ字の表記		
	7. くぎり符号・くり返し符号・横書きの書き方など		
第13回	第5章 語彙	事前学習	教科書 pp. 176-189 を熟読しておく。
	1. 語彙と語の違い		授業の疑問点、感想・コメントを書く。
	2. 語種		
	3. 語構成	事後学習	
	4. 語彙の体系		
	5. 語を数える		
	6. 位相 第6章 社会言語学	事前学習	教科書 pp. 195-219 を熟読しておく。
	初 5 平 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	尹刖子自	
	2 敬語		Ⅰ 授業の疑問占 咸相・コメントを建く
	2. 敬語 3. 方言と共通語		授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	2. 敬語     3. 方言と共通語     4. 文法以外のコミュニケーション行動	事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	3. 方言と共通語	事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	<ol> <li>方言と共通語</li> <li>文法以外のコミュニケーション行動</li> </ol>	事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	<ol> <li>方言と共通語</li> <li>文法以外のコミュニケーション行動</li> <li>コミュニケーション・ストラテジー</li> </ol>		授業の疑問点、感想・コメントを書く。  これまでの学習内容を復習し、疑問点を明ら
第14回	<ol> <li>方言と共通語</li> <li>文法以外のコミュニケーション行動</li> <li>コミュニケーション・ストラテジー</li> </ol>	事後学習事前学習	